

特別展

極楽

— 練り供養をめぐる美術 —

— 2013年 —
9月7日(土) — 10月20日(日)

開館時間 — 午前10時 — 午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 — 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日休館)

主催 — 龍谷大学 龍谷ミュージアム、毎日新聞社、京都新聞社

龍谷大学

龍谷ミュージアム

RYUKOKU MUSEUM

特別展

極楽への いざない

—練り供養をめぐる美術—

練り供養とは、〴〵来迎、すなわちあの世（極楽）からのお迎えを演じる行事です。迎講、来迎会、レンゾなどとも呼ばれ、現在でも奈良の當麻寺、岡山の弘法寺、大阪の大念仏寺、東京の浄真寺をはじめ、各地で行われています。面を被り、装束を着け、仏菩薩に扮した人々が、極楽に見立てた場所からこの世の往生者のところまで練り歩き、往生者の小像を蓮台にのせて極楽に連れ帰ります。練り供養のイメージの源泉となったのは、『往生要集』などに説かれた来迎の様子や、それを元に描かれた仏画などだったと考えられます。現在でも小説やマンガの登場人物に扮するコスプレや、映画などでの実写化や3D映像などが人気を呼んでいます。練り供養も、イメージを実体化し共有する手段であったといえるでしょう。本展では、弘法寺の迎講阿弥陀如来像や練り供養で使われた面などのほか、練り供養成立の背景となる仏像や仏画の優品など、重要文化財をふくむ100件余りを展示いたします。



奈良・當麻寺 聖衆來迎練供養會式(しょうじゅうらいごうねりくようしき)
日本を代表する練り供養行事で、奈良県葛城市の當麻寺で毎年5月14日に行われます。当麻曼陀羅ゆかりの中將姫の往生の様子をあらわします。



岡山・弘法寺 脚供養(わりくよう)
岡山県瀬戸市内の弘法寺で毎年5月5日に行われます。木彫像を人が被る、いわば着ぐるみの元祖ともいふべき阿弥陀如来像が登場します。これはかつて當麻寺でも行われていた古いスタイルを残したものであることが、近年の研究で明らかになりました。



- 3~5 撮影：飛鳥園
1. 重要文化財《阿弥陀二十五菩薩來迎図》鎌倉時代 滋賀・新知恩院藏
 2. 《當麻曼荼羅》南北朝時代
 3. 《木造 迎講阿弥陀如来像》
 4. 《菩薩面》
 5. 《天童面》 鎌倉時代 岡山・弘法寺藏



龍谷大学

龍谷ミュージアム

RYUKOKU MUSEUM

〒600-8399

京都市下京区堀川通正下面下(西本願寺前)

tel. 075-351-2500 fax. 075-351-2577

http://museum.ryukoku.ac.jp

交通案内◎JR・近鉄・地下鉄丸線「京都」駅から徒歩約12分 ◎地下鉄丸線「五条」駅から徒歩約10分 ◎京都市バス(9・28・75系統)「西本願寺前」下車約2分 ※当館には専用の駐車場はございません。ご来場の際は、バス等の公共交通機関をご利用ください。



龍谷大学

龍谷ミュージアム
RYUKOKU MUSEUM

【特別展】

極楽への いざこざない

―練り供養をめぐる美術―

開館時間―午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日―9月9・17・24・30日、10月7・15日

主催―龍谷大学 龍谷ミュージアム 毎日新聞社 京都新聞社

特別支援―浄土真宗本願寺派 本山本願寺

特別協力―當麻寺 誕生寺 弘法寺(遍明院・東寿院)

後援―弘法寺踰供養保存会

京都府教育委員会 京都市教育委員会 京都市観光協会

MBS KBS 京都 NHK 京都放送局



2013
9.7 sat
↓
10.20 sun



ART AND CEREMONY OF THE PURE LAND BUDDHISM

特別展「極楽へのいざない—練り供養をめぐる美術—」出品作品リスト

■作品番号は、会場内の番号と一致しますが、展示順序とは一致しません。

■指定記号 ●は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品を示します。

■作品保護のため展示替えを行います。＜前期：9月7日（土）～29日（日） 後期：10月1日（火）～20日（日）＞

■番号6、16、26、32、33、35、37、41、55、57、71、78、82、92、93、118、131は京都会場には出品されません。

番号	指定	名称	作者等	制作年代	所蔵	展示期間
序章 練り供養とは						
1		伝 智光曼荼羅		室町時代	奈良 能満院	前期
2		智光曼荼羅		鎌倉時代	文化庁	後期
3		清海曼荼羅		江戸時代	東京 真如苑	前期
4		当麻曼荼羅	法眼隆尊筆	鎌倉・元応元年(1319)	兵庫 龍泉寺	前期
5		当麻曼荼羅		鎌倉時代	広島 浄土寺	後期
7		当麻曼荼羅		南北朝時代	龍谷大学 龍谷ミュージアム	前期
8	○	当麻曼荼羅		鎌倉時代	和歌山 得生寺	後期
9		兜卒天曼荼羅		室町時代	滋賀 成菩提院	前期
10	◎	弥勒菩薩来迎図		鎌倉時代	東京藝術大学大学美術館	10月1日～14日
11		阿弥陀三尊弥勒仏来迎図		南北朝時代	京都 誓願寺	後期
12	◎	釈迦来迎図		鎌倉時代	東京 根津美術館	9月7日～23日
13	○	十一面観音来迎図		鎌倉時代		前期
14		十一面観音来迎図		室町時代	岡山 少林寺	後期
15		千手観音二十八部衆像		鎌倉時代	広島 浄土寺	9月25日～10月20日
17	◎	地藏菩薩来迎図		鎌倉時代	奈良国立博物館	前期
18		地藏菩薩来迎図		室町時代		後期
19	◎	地藏菩薩来迎図		南北朝時代	岡山 捧澤寺	後期
20		地藏菩薩来迎図		室町時代	岡山 安養寺	前期
21		法華経 卷第二		平安時代後期	大阪市立美術館	通期
22		法華経(開結共) 観普賢経		平安時代後期	滋賀 比叡山延暦寺	通期
23		善悪双六 極楽道中図絵	黒川玉水筆	江戸・安政5年(1858)	龍谷大学 大宮図書館	前期
第1章 のぞまれた臨終のかたち ～この世とあの世の造形～						
24		恵心僧都像		鎌倉時代	滋賀 聖衆来迎寺	前期
25		恵心僧都像		室町時代	滋賀 比叡山延暦寺	後期
27		往生要集		鎌倉・建長5年(1253)	龍谷大学 大宮図書館	通期(頁替あり)
28		往生要集絵 卷第一・五		室町時代		前期(巻第1)、後期(巻第5)
29		六道絵		室町時代	東京 出光美術館	後期
30	◎	十界図		室町時代	奈良 當麻寺奥院	前期
31		十王図		鎌倉時代	大阪 水尾弥勒堂	前期
34		地獄草紙(安住院本) 模本	木村淡香模写	大正5年(1916)	東京国立博物館	前期
36		餓鬼草紙(河本家本) 模本	田中訥言模写	江戸時代	東京国立博物館	後期
38		九相詩絵巻		室町時代	東京大学国文学研究室	後期
39		九相詩絵巻		室町・大永7年(1527)	大阪 大念佛寺	前期
40	◎	地藏菩薩十王像		室町時代	岡山 寶福寺	前期(6幅)、後期(5幅)
42	◎	二河白道図		鎌倉時代	奈良国立博物館	前期
43		浄土曼荼羅図		室町～桃山時代	岡山 浅口市教育委員会	後期
44		遣迎二尊十王十仏図		南北朝時代	岡山 木山寺	前期

番号	指定名称	作者等	制作年代	所蔵	展示期間
45	阿弥陀来迎図		室町時代	岡山 餘慶寺本乗院	後期
46	阿弥陀三尊来迎図		室町時代	岡山 餘慶寺定光院	後期
47	阿弥陀三尊来迎図		室町時代	岡山 大福寺	後期
48	阿弥陀三尊来迎図		室町時代		前期
49	阿弥陀三尊来迎十仏図		室町時代	岡山 木山寺	後期
50	阿弥陀五尊来迎図		室町時代		前期
51	阿弥陀三尊来迎図		鎌倉時代	岡山 元恩寺	後期
52	阿弥陀三尊来迎図		鎌倉時代	滋賀 光明寺	前期
53	阿弥陀三尊来迎図		室町時代	兵庫 常楽寺	後期
54	刺繍 阿弥陀三尊来迎図		南北朝時代	奈良国立博物館	後期
56	刺繍 阿弥陀三尊来迎図		室町時代		前期
58	刺繍 種子阿弥陀三尊図		鎌倉時代	京都 永観堂禪林寺	前期
59	刺繍 種子阿弥陀三尊図		南北朝時代	奈良国立博物館	後期
60	◎ 阿弥陀聖衆来迎図		鎌倉時代	奈良 松尾寺	前期
61	◎ 阿弥陀二十五菩薩来迎図		鎌倉時代	兵庫 小童寺	後期
62	阿弥陀聖衆来迎図		室町時代	岡山 大賀嶋寺	後期
63	◎ 阿弥陀二十五菩薩来迎図		鎌倉時代	滋賀 新知恩院	前期
64	◎ 阿弥陀二十五菩薩来迎図		鎌倉時代	岡山 遍明院	後期
65	◎ 二十五菩薩来迎図		鎌倉時代	京都 浄福寺	通期
66	◎ 二十五菩薩来迎図		鎌倉時代	京都 永観堂禪林寺	前期
67	◎ 二十五菩薩来迎図屏絵		南北朝時代	京都 永観堂禪林寺	通期
68	阿弥陀聖衆来迎図		室町時代		通期
69	木造 阿弥陀如来坐像		平安時代後期	奈良 當麻寺護念院	通期
70	木造 阿弥陀如来坐像		平安時代後期	岡山 安養寺	通期
72	木造 阿弥陀如来坐像および二十五菩薩像		平安時代後期・江戸時代	和歌山 法福寺	通期
73	木造 阿弥陀如来立像		鎌倉時代	滋賀 正福寺	通期
74	法然上人伝法絵 断簡		鎌倉時代	岡山県立博物館	後期
75	◎ 法然上人伝絵 卷第三十七		室町時代	奈良 當麻寺奥院	前期
76	融通念仏縁起(義尚本)		室町時代	大阪 大念佛寺	後期
77	◎ 頬焼阿弥陀縁起		鎌倉時代	神奈川 光觸寺	前期(巻上)、後期(巻下)
79	山越阿弥陀図		室町時代	岡山 浄土寺	後期
80	山越阿弥陀図		室町時代	滋賀 西教寺	前期
81	山越阿弥陀図		室町時代		前期
83	木造 山越阿弥陀像		江戸時代	奈良 新薬師寺	通期
84	阿弥陀二十五菩薩来迎図		江戸時代	滋賀 正福寺	通期
参考1	仏三尊像		3~4世紀		通期

第2章 練り供養いまむかし ～各地に伝わる練り供養～

85	木造 阿弥陀如来立像		鎌倉時代	奈良 當麻寺護念院	通期
86	木造 法如(中将姫)坐像		江戸時代	奈良 當麻寺護念院	通期
87	木造 法如(中将姫)化生坐像		江戸時代	奈良 當麻寺護念院	通期
88	菩薩面		鎌倉～江戸時代	奈良 當麻寺	通期
89	◎ 當麻寺縁起 卷下	絵:土佐光茂筆 詞:後奈良天皇 ほか筆	室町・享祿4年(1531)	奈良 當麻寺	9月7日～13日(第7段) 9月14日～20日(第6段)

番号	指定	名称	作者等	制作年代	所蔵	展示期間
90	◎	當麻曼荼羅縁起		南北朝時代	奈良 當麻寺	10月1日～14日
91		法如(中将姫)像		鎌倉時代	奈良 當麻寺中之坊	通期
94		証空上人思惟像		室町時代	京都 永観堂禅林寺	通期
95		証空上人絵伝(善恵上人絵) 巻第四		室町・享祿4年(1531)	兵庫 浄橋寺	前期
96		本堂内陣旧巻柱(証空田畠施入状)		鎌倉・寛喜元年(1229)	奈良 當麻寺	通期
97		阿弥陀二十五菩薩来迎図・六字名号・法如(中将姫)像 版木		江戸時代	奈良 當麻寺西南院	後期
98		木造 迎講阿弥陀如来立像		鎌倉時代	岡山 弘法寺	通期
参考2		木造 行者(伝 中将姫)坐像		江戸時代	岡山 弘法寺	通期
参考3		脚供養装束		江戸時代	岡山 弘法寺	通期
99		行道面(菩薩・比丘・天童)		鎌倉時代	岡山 弘法寺	通期
100		行道面櫃		江戸時代	岡山 弘法寺	通期
101		鼓胴		鎌倉・永仁4年(1296)銘	岡山 遍明院	通期
102		太鼓		鎌倉～室町時代	岡山 遍明院	通期
103	◎	木造 阿弥陀如来立像 胎内納入文書		鎌倉・建暦元年(1211)	岡山 東寿院	通期
104		無文磬		鎌倉・弘安8年(1285)銘	岡山 遍明院	通期
105		菊牡丹文透彫華鬘		南北朝時代	岡山県立博物館	前期(1枚)、後期(1枚)
106		菊牡丹文透彫華鬘		南北朝時代	奈良国立博物館	前期(1枚)、後期(1枚)
107		備前国邑久郡千手山弘法寺脚供養之図式		江戸時代	岡山県立博物館	通期
108		備前国邑久郡豊原庄千手山弘法寺図略来由記		江戸・宝永7年(1710)版	岡山県立博物館	通期
109		行道面(菩薩・天童)		鎌倉時代	広島 米山寺	通期
110		木造 小早川隆景坐像		桃山・文禄5年(1596)銘	広島 米山寺	通期
111		木造 阿弥陀如来立像 附 胎内納入摺仏		鎌倉時代	岡山 誕生寺	通期
112		刺繍 阿弥陀三尊来迎図		室町時代	岡山 誕生寺	後期
113		法然上人御誕生御絵伝		江戸・貞享4年(1687)	岡山 誕生寺	後期
114		欄社山誕生寺略絵図 版木		江戸～明治時代	岡山 誕生寺	後期
115		等楽寺縁起		室町時代	京都 竹野神社	通期
116		神面		室町・永正13年(1516)ほか	京都 元伊勢籠神社	通期
117		竿頭飾		室町時代	京都 元伊勢籠神社	通期
119		往生極楽院千仏図		平安時代後期	京都 三千院	後期
120		往生極楽院装飾板		平安時代後期	京都 三千院	後期
121		阿弥陀聖衆来迎図		鎌倉時代	京都 三千院	後期
122		菩薩面(断片)		平安時代後期	奈良 円成寺	通期
123		菩薩面(聖霊会舞楽面のうち)		桃山～江戸時代	大阪 四天王寺	通期
124		菩薩面(行道面のうち)		江戸時代	大阪 四天王寺	通期
125		阿弥陀聖衆来迎図 模本	下村観山・本多天城・溝口禎次郎模写	明治29年(1896)	東京国立博物館(原品:和歌山 有志八幡講十八箇院)	前期
126	◎	菩薩面	増善作	平安後期・康和4年(1102)銘	奈良 法隆寺	通期
127	◎	菩薩面		平安時代後期	奈良 法隆寺	通期
128		菩薩面		平安時代後期	京都 光明寺	通期
129		行道面(菩薩・比丘)		江戸・宝暦10年(1760)	京都 光明寺	通期
130	◎	行道面のうち(如来・菩薩・比丘)		鎌倉～室町時代	広島 御調八幡宮	前期(2面)、後期(4面)

番号	指定	名称	作者等	制作年代	所蔵	展示期間
132	◎	阿弥陀経 版木		鎌倉・嘉禎2年(1236)	広島 御調八幡宮	前期
参考4		木造 重源坐像(複製)		原品:鎌倉時代	岡山県立博物館 (原品:三重 新大仏寺)	通期
参考5		南無阿弥陀仏作善集		原品:鎌倉時代	岡山県立博物館 (原品:東京大学史料編纂所)	通期
133	◎	菩薩面		鎌倉時代	兵庫 浄土寺	通期
134		行道面(菩薩・比丘)		室町時代	兵庫 浄土寺	通期
135	◎	鉦鼓		鎌倉・建久5年(1194)銘	兵庫 浄土寺	通期
136		木造 裸形阿弥陀如来立像		鎌倉時代	奈良国立博物館	後期
137	◎	菩薩面		平安時代後期・鎌倉時代	奈良 東大寺	通期
138		菩薩面		平安後期～鎌倉時代・ 南北朝～室町時代	岡山 吉備津神社	通期
139		木造 宝冠阿弥陀如来坐像	集賢作	鎌倉・嘉暦4年(1329)	岡山県立博物館	通期
140		軒丸瓦・軒平瓦(「吉備津宮常行堂」刻銘)		鎌倉時代	岡山 吉備津彦神社	通期
141		平瓦(「東大寺」刻印) 軒丸瓦(「東大寺大仏殿」刻銘)		鎌倉時代	岡山県立博物館	通期
142		菩薩面		鎌倉時代・南北朝時代	千葉 建暦寺	通期
143		菩薩面		鎌倉時代		通期
144		菩薩面		南北朝～室町時代		通期
145		行道面(如来・菩薩・天童・獅子子)		鎌倉～室町時代	和歌山 上花園神社	通期
146		行道面(如来・菩薩・比丘・毘沙門・不動・鳥・天人)		室町時代	長野 十念寺二十五菩薩来迎会保存会	通期
147		木造 行者坐像		江戸時代	長野 十念寺二十五菩薩来迎会保存会	通期
148		行道面(如来・菩薩・比丘・不動)		鎌倉～室町時代	長野 相澤寺維持管理委員会	通期
149		木造 中将姫坐像(十五歳像)		江戸・貞享3年(1686)	和歌山 得生寺	通期
150		中将法如御一代画伝	白玉斎筆	江戸・文政13年(1830)	和歌山 得生寺	後期
151		称讃浄土仏撰受経		平安時代後期	和歌山 得生寺	前期
152		木造 迎講阿弥陀如来立像		江戸時代	大阪 大念佛寺	通期
153		十一尊天得如来像		室町時代	大阪 大念佛寺	後期
154		来迎会木箱蓋		江戸・元禄9年(1696)	大阪 大念佛寺	通期
155		大念佛寺廿五しやうらい次第		江戸時代	大阪歴史博物館	通期
156		大念佛寺来迎会図		江戸時代	大阪歴史博物館	通期
157		大念佛煉供養(花暦浪花自慢のうち)	歌川芳豊筆	江戸時代	大阪歴史博物館	後期
158		行道面(如来・菩薩・比丘)		江戸・文政10年(1827)	東京 浄真寺	通期
159		行道面(如来・菩薩・比丘)		江戸・嘉永4年(1851)頃	兵庫 太山寺	通期
160		矢田地蔵毎月日記絵		室町時代	奈良国立博物館	通期(前後期巻き替え)
161		行道面(無毒王・閻魔王・赤鬼王・満米上人・菩薩・比丘)		明治13年(1880)頃	奈良 矢田寺(金剛山寺)	通期
162		矢田寺金剛山寺練供養図		明治13年(1880)	奈良県立図書館情報館	通期
163		和州矢田山満米上人地獄廻り練供養図		明治15年(1882)	奈良 矢田寺南僧坊	通期